
目次

- 【01】 災害時における外国人支援への取り組み
 - 災害時の外国人支援の強化について
 - ～被災地を遠隔地から支援する災害時多言語支援センター～
 - ★ (特活) 多文化共生マネジャー全国協議会
- 【02】 大規模災害への備えについて～外国人住民と地域や行政～
 - ★～災害多言語支援センター運営の経験から～
- 【03】 事業報告
 - 留学生等のための総合防災訓練
 - 留学生のためのキャリアカウンセリング
 - 国際教育セミナー (JICA関西からの事業報告)
- 【04】 大阪府外国人情報コーナーから
 - 通訳相談員研修会
 - 平成27年度第1回大阪府外国人向け行政情報提供窓口相談員ネットワーク会議
 - <OFIX共催事業>外国人のための一日生活・労働相談会 / (公財) とよなか国際交流協会
- 【05】 お知らせ
 - ◎大阪府堺留学生会館オリオン寮10月入居者募集
 - ◎OFIXフェイスブックに「いいね!」をお願いします
 - 【大阪府からのお知らせ】
国勢調査2015～平成27年国勢調査が変わります!～
 - 大阪府国際化戦略実行委員会からのお知らせ
 - ◎おおさかグローバル塾(豪州留学コース) 塾生募集中!
 - ◎ベトナム語で大阪への留学情報を掲載したウェブサイト
を開設!

編集後記

【01】 災害時における外国人支援への取り組み

近年、増加する自然災害等の状況をふまえ、OFIXでは、「中期経営計画(平成27～29年度)」において「災害時の

外国人支援体制の確立」を掲げ、事業を推進しています。
今月号ではOFIXの取り組みについて紹介します。

■ 災害時の外国人支援の強化について

大規模災害時には外国人住民の方は、言葉の問題や地震等の知識や経験不足から災害弱者となりうる傾向にあります。そのためOFIXでは外国人住民の方を言語支援する災害時通訳・翻訳ボランティアの拡充に取り組んでいます。

その一環として、OFIX主催による「留学生等のための総合防災訓練」では、留学生向けの「避難所体験訓練」と災害時通訳・翻訳ボランティア等を対象とした「災害時多言語支援センター設置訓練」を併行実施しています。また「災害時の通訳・翻訳ボランティア研修」を毎年実施しています。

加えて、市町村や国際交流協会等と連携し「外国人住民向け防災訓練」や「災害時通訳・翻訳ボランティア研修」を共同で開催しています。

さらに府内教育機関と連携し、海外からの学生を受け入れている高等教育機関の担当者を対象に災害時における留学生の安否確認方法等について意見交換を行う「高等教育機関留学生担当者防災ワークショップ」を実施しています。今年度は「大阪880万人訓練」(最終頁参照)の前日の9月3日に実施する予定です。

なお、平成27年3月にOFIXと大阪府は、大規模災害時に府内在住の外国人に円滑な支援を行うため「大阪府災害時多言語支援センターの設置・運営に関する協定書」を締結しました。これに基づき、センター設置・運営に向けて具体的な準備を進めています。

■～被災地を遠隔地から支援する災害時多言語支援センター～

(特活)多文化共生マネージャー全国協議会(以下、「協議会」)は、国、自治体、国際交流協会等との連携を図り、多文化共生社会の実現に向けた取り組みを行う団体です。

協議会では毎年、(一財)自治体国際化協会と(公財)全国市町村国際文化研修所(以下、「JIAM」)が共催している人材育成事業「多文化共生マネージャー養成コース」に、ファシリテーターを派遣しています。

今回は、協議会の理事であり「東北地方太平洋沖地震多言語支援センター」(以下、「センター」)のセンター長を務められた土井氏に、センターの設置・運営に関する寄稿をいただきました。

★(特活)多文化共生マネージャー全国協議会
理事 土井 佳彦

平成23年3月11日、東日本大震災発災からおよそ4時間後協議会はJIAMにセンターを設置しました。本稿では、

この活動においてポイントとなった①設置場所、②協力団体、③活動内容について簡単にご紹介します。

まず、なぜ被災地である東北ではなく関西にセンターを設置したかということ、東北は震災や津波による被害があまりに甚大で支援拠点を設けることは困難で、また関東も計画停電や震度5前後の余震が続き、安定した支援活動ができないだろうと考えたからです。

関西にある施設のなかでもJIAMは研修所ということで、使用できる空き部屋や宿泊施設もあり、センターを運営するうえで恵まれた環境にありました。幸いこれまでからの関係のなかで、すぐにJIAMからの協力を得ることができたため、そこにセンターを設置することになりました。

次に、活動期間中、通訳や翻訳、情報提供などに国内外から約50団体の協力を得ました。中国語翻訳に協力いただいた大阪府内の国際交流協会等から構成されている「国際交流協会ネットワークおおさか」もその一つです。活動においては電子メールによる翻訳や携帯電話の多者通話機能による通訳など、IT技術の向上・普及が大きな力を発揮しました。

最後に活動内容ですが、今回は主に災害情報の多言語翻訳、電話通訳による多言語ホットライン（相談）、被災地へのスタッフ派遣の3つを行いました。これは全国各地から集まった支援者（51日間で延べ約500人）のお力添えの賜物です。

詳細は下記「活動報告書」をご覧ください。
<http://blog.canpan.info/tabumane/archive/59>

【02】大規模災害への備えについて～外国人住民と地域や行政～

地震などの大規模災害時に外国人住民の方は、行政機関などの情報を入手しづらかったり、家族や知人と連絡が取れないことなどから、トラブルを抱える場合があります。

大阪府では、ポータルサイト「おおさか防災ネット」を開設し、災害時の避難場所等の情報を提供しています。また日本語以外にも英・中・韓で気象情報などの緊急情報が掲載されています。

おおさか防災ネットの「防災情報メール配信サービス」という携帯電話用サイトに登録しておく、災害時に気象や避難情報などの緊急情報を日・英で受信することができます。

またOFIXは、大阪府外国人情報コーナーにおいて、常時、外国人の方からの相談を受けつけていますが、大規模災害時等にも外国人の方に必要な情報を多言語で翻訳・発信する準備を進めています。

以下に、実際に災害多言語支援センターを設置・運営した仙台観光国際協会の菊池氏に、災害時の外国人住民へのアドバイス、また地域や行政がすべきことを寄稿いただきました。

★ ～災害多言語支援センター運営の経験から～
(公財) 仙台観光国際協会 国際化推進課 菊池 哲佳

平成23年3月に発生した東日本大震災では、仙台国際交流協会(現在の仙台観光国際協会)は発災当日より仙台市が仙台国際センターに設置した「災害多言語支援センター」(以下、「センター」)を指定管理業務として運営しました。センターでは主に外国人被災者に必要な情報を英語、中国語、韓国語、やさしい日本語などの多言語で提供するとともに、多言語での相談対応を行いました。

発災直後は国内外から安否確認の問い合わせがセンターに殺到しました。その問い合わせが落ち着いてくると、原発事故に関する情報や「帰国したい」、「仙台を離れたい」といった国内外への退避に関する問い合わせが次々と寄せられました。一方で外国人住民が多く住む地域の避難所では、多くの外国人被災者が集まったために対応にとまどったという運営側の声が聞かれました。このような経験から災害時の外国人被災者が抱える問題は日本語の情報を理解しづらいということだけではなく、地域の人たちとの日頃からの交流が乏しいことが原因となっているように思いました。そこで外国人住民が日頃から備えておくべきこととして次のことを挙げたいと思います。

- (1) 災害時に自分の身を守ることができるように、日本語や防災の知識を学ぶ。
- (2) 母国の家族や友人と連絡を取る方法を決めておく。
- (3) 日頃から地域の人たちとコミュニケーションをとって、災害時にも協力し合えるようにする。

また、災害時に備えて地域や行政側でできることとして、次のようなことが考えられるでしょう。

- ・外国人住民のための防災訓練や研修を実施する。訓練を通じて地域で交流を図る。
- ・センターの設置運営訓練を実施し、関係機関や言語ボランティアでセンターのイメージを共有する。

これらの例は目新しさはないかもしれませんが、このような地道な取り組みが誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりにつながるものだと思います。仙台でも震災の教訓をふまえて少しずつ実践しているところです。OFIXのみなさんとは日頃からさまざまな事業で情報やアイデアを交換させてもらっていますが、防災事業でも力を合わせて安全・安心の地域づくりを進めていければと願っています。

★ OFIX主催の「留学生等のための総合防災訓練」の際、災害時多言語支援センター一班にスタッフとして参加していただいた堺市職員の林氏にコメントをいただきました。(総合防災訓練の実施概要については次頁参照)

～留学生等のための総合防災訓練に参加して～

堺市国際課 交流協力係長 林 有子

7月4日(土)に、大阪府堺留学生会館オリオン寮での総合防災訓練に参加し、私は災害時多言語支援センター一班に加わりました。当日は行政や国際交流協会関係者のほか、語学ボラ

ンティアの方が参加してくださいました。

訓練は、(特活)多文化共生マネージャー全国協議会の時、事務局長による指導のもと、災害時多言語支援センターに駆けつけた限られたスタッフで役割分担しながら、避難所に届ける情報の取捨選択と翻訳、避難所巡回など、実践型の訓練が行われました。

事務局長からは、避難所巡回の際、被災者とのコミュニケーションのとり方で注意すべき点として、「被災者に安心を届けることが目的」、「その場で即答できないことはセンターに持ち帰る」などのアドバイスをいただきました。

災害情報の多言語化をすすめるうえで、また被災者に安心感を届けるうえでも、語学ボランティアの皆さんをはじめとする母語でコミュニケーションが図れる人材は非常に貴重です。こうした訓練を繰り返すことで、実際の災害時に外国人住民の支援に携われる人材がひとりでも多く育成されることを願っています。

【03】 事業報告

■ 留学生等のための総合防災訓練

日時：7月4日（土）

場所：大阪府堺留学生会館オリオン寮

参加者：49名

留学生を対象に、地震発生時の対応や避難所とは何かについて学ぶ「避難所体験訓練」とボランティアなどを対象に、災害時外国人支援のために必要な通訳や翻訳を体験する「災害時多言語支援センター設置訓練」を併行して行う「留学生等のための総合防災訓練」を実施しました。

■ 留学生のためのキャリアカウンセリング

日時：7月17日（金）

場所：コングレコンベンションセンター（グランフロント大阪）

参加者：24人

2016年大学等卒業予定者や若年求職者等を対象にした合同企業説明会「テッペン企業による天下一合説」において、「留学生のための相談コーナー」を設置し、キャリアカウンセリングを実施しました。大雨にもかかわらず、学生や求職者（1,043人、うち留学生173人）が来場し、24人の留学生が相談コーナーを訪れました。

「希望する業種は決まっているが、具体的にどのような企業を選べばよいのか」といった相談のほか、「就職するにあたっての在留資格の変更」などの質問もありました。カウンセラーからは「就職活動に関する基礎知識が、日本人学生よりまだまだ少ない」などの感想をいただきました。

■ 国際教育セミナー（JICA関西からの事業報告）

8月4日(火)と6日(木)にJICA関西、大阪府国際交流財団、大阪国際交流センター(4日のみ)共催による国際教育セミナーが行われ、第1回の4日は72名、第2回の6日は52名の方が参加

されました。両日とも、開発教育・国際教育に関心のある学校教員や市民向けに、グローバル化社会の課題を考え、教育実践の場で活用できる教材や参加型学習の手法を学ぶ内容で、実践報告やワークショップを体験していただきました。この2日間で学び気づいた視点を国際教育の現場で活かしていただければと思います。

【04】 大阪府外国人情報コーナーから

■ 通訳相談員研修会

日時：6月22日(月)、7月3日(金)

場所：マイドームおおさか 8階第3会議室

参加者：6月22日37名、7月3日28名

(市町村、OFIXの通訳・相談員)

第1日目(6/22)は「外国にルーツのある子どもをとりまく課題」についての講義を受けました。第2日目(7/3)は講義で学んだことを事例に「ロールプレイ演習」を実施しました。各言語グループに分かれて、相談者、相談員、通訳者の役割を演じ、自他の通訳パフォーマンスを評価するものです。それぞれの国の背景知識やメモ取りの重要性など、さまざまな気づきの成果があったようです。

後半は、司法通訳者西松鈴美氏による「技能向上を目指した通訳演習」を行いました。参加者からは「今後も定期的で開催してほしい」との声が聞かれました。

■ 平成27年度第1回大阪府外国人向け行政情報提供窓口 相談員ネットワーク会議

日時：7月29日(水)

場所：マイドームおおさか 8階第3会議室

参加者：28名(府内市町村及び国際交流協会の相談員、担当課の職員)

今回は、大阪府警察本部の方から外国人住民のトラブルに関する対応についてお話いただき、次に大阪弁護士会の方から、外国人が加害者または被害者になった場合の具体的な刑事手続きの流れについて講義をしていただきました。参加者からは「現実に即した内容で良かった」「警察や弁護士の方から貴重な話を聞けた」などの意見が寄せられました。

後半は、参加者の交流を深める目的で、地域の特色を表す事例や、共通する課題などについて情報交換を行いました。

■ <OFIX共催事業> 外国人のための一日生活・労働相談会 / (公財) とよなか国際交流協会

日時：8月9日(日)

場所：とよなか国際交流センター

相談者：22名

とよなか国際交流協会はOFIXと共催で、日本語でのコミュニケーションに課題を抱える外国人住民を対象に相談会を実施しました。この相談会は、法律・行政情報を母語で提供するとともに、継続的なフォローが必要かつ希望する相

談者を、連携機関につなぐことで課題解決の糸口となる機会を提供するものです。相談には、3名の弁護士、1名の行政書士、そして同協会とOFIXの相談員が対応しました。また語学ボランティアなどが、ベトナム語、フィリピン語、中国語、ポルトガル語、英語など10言語による通訳支援を行いました。

【05】 お知らせ

◎ 大阪府堺留学生会館オリオン寮 10月入居者募集

OFIXが運営する「大阪府堺留学生会館オリオン寮」では、10月からの入居者を募集しています。

男子2室、女子2室（8月27日時点）の募集です（先着順）。皆さんの入居をお待ちしております。詳細は下記をご参照ください。

<http://www.ofix.or.jp/accept/support/orion.html>

◎ OFIXフェイスブックに「いいね！」をお願いします

OFIXフェイスブックは、財団のタイムリーな情報を随時アップしています。大規模災害時には、外国人住民に必要な情報を多言語に翻訳し、随時OFIXフェイスブックに掲載していく予定です。

<https://www.facebook.com/osakafoundation>

◎ 第4回大阪880万人訓練が9月4日(金)午前11時に行われます本訓練は大阪府、大阪市、堺市、企業数社で構成された大阪880万人訓練実行委員会が、主に大阪府民を対象に、平成24年度から実施している防災訓練です。

多言語版リーフレットもあります。外国人の方も積極的にご参加ください。

http://www.pref.osaka.lg.jp/shobobosai/trainig_top/h27_880.html

■ 【大阪府からのお知らせ】

国勢調査2015 ～平成27年国勢調査が変わります！～

インターネットでも紙の調査票でも回答可能。国勢調査の結果は、福祉、教育、雇用、防災、地域対策など、日本の未来をつくる基礎資料になります。10月1日現在の皆さんの状況を回答してください。

詳しくは<http://kokusei2015.stat.go.jp/>

■ 大阪府国際化戦略実行委員会からのお知らせ

◎おおさかグローバル塾（豪州留学コース）塾生募集中！

当実行委員会では、世界で通用するグローバル人材を育成するため、これまで高校2・3年生を対象に「英国・米国留学コース」を実施してきましたが、今年度から高校1年生（大阪府内に在住または在学する者）を対象とする「豪州留学コース」を新設しました。現在、第1期塾生を下記のとおり募集中です。

[募集締切] 10月2日（金）

[募集定員] 20名

[自己負担] 136,000円（海外旅行保険、短期留学中の昼食費、パスポート・ビザ取得費用等は除く）

詳しくは <http://osakaglobal.jp/jp/news/2015/07/00.html>

◎ベトナム語で大阪への留学情報を掲載したウェブサイト
を開設!

日本に対する関心が高く、今後一層の発展が見込まれる
ベトナムから多くの優秀な留学生を大阪に呼び込むため、ベ
トナムの若者を対象にしたベトナム語によるウェブサイトを
開設いたしました。

ウェブサイトの内容は、(1) 大阪の紹介、(2) 大阪の教
育機関の紹介、(3) 留学生にとって有用なニュース、(4) ベ
トナム人留学生等による大阪留学レポート、(5) 大阪留学相
談窓口の紹介、(6) 問い合わせの多いQ&Aなどです。

現地における問い合わせや大阪留学のニーズに応えると
ともに、大阪の教育機関の情報発信をサポートし、実際の
大阪留学に結びつけ、大阪の国際競争力の強化を図ります。
ウェブサイトのURL <http://duhoc-osaka.com.vn/vi>

編集後記

●最近、各地で防災に関する研修や訓練が行われています。外
国人住民の方を支援する立場の私たち一人ひとりが、防災へ
の意識を持って、日ごろから地域の協力体制を組んでおくな
ど災害に備えておくことが大切です。まずは大阪880万人
訓練にみんなで参加しましょう!

=====

【大阪府外国人情報コーナー】 (OFIX内)

外国人のための無料相談窓口です。

(在留資格、労働、医療、福祉、生活などの相談)

相談時間 午前9時-午後5時30分 (月曜から金曜)

休憩 (午後0時15分-午後1時)

専用電話 06-6941-2297

相談言語 英語、韓国・朝鮮語、中国語、ポルトガル語

スペイン語、タイ語、フィリピン語、ベトナム語

E-メール jouhou-c@ofix.or.jp

=====

★大阪府メ-ルマガジン情報★ 『G E O (Global E-net Osaka) 』

大阪で開催されるイベント・大阪の名所・大阪に関する豆知識等を紹介する
メ-ルマガジンです!

⇒ <http://www.pref.osaka.jp/kokusai/geo/index.html>

★その他の募集・お知らせ★

※国際理解学習の授業 (小中高) に国際交流員や留学生等を派遣します。

⇒ <http://www.ofix.or.jp/training/education/index.html>

※OFIXボランティアの登録制度のご紹介

⇒ <http://www.ofix.or.jp/accept/volunteer/system.html>

※OFIX賛助会員の募集及びご寄付のお願い。

⇒ <http://www.ofix.or.jp/ofix/support/index.html>

=====

≫≫ OFIXニュースについてのご意見、ご感想はこちら

